

# ビジネスの現場に変革をもたらすデータのカ

2022年7月5日

北陸大学 データサイエンス・AI教育シンポジウム

ヴェルク株式会社

津久井 浩太郎



ヴェルク株式会社 取締役/アーキテクト

津久井 浩太郎

2004年、フューチャーシステムコンサルティング株式会社(現・フューチャー株式会社)に新卒入社後、IT基盤を中心としたコンサルティング案件や流通小売業のシステム設計構築案件などに従事。その後、インターネット広告系のシステム会社を経て、2010年にフューチャー時代の同期と共にヴェルク株式会社を設立。現在12期目。

システム受託開発事業から派生させてデータ分析事業を立ち上げ。マネジメントを行う一方、自らも流通小売、エネルギー、メーカー、出版、大学など様々なクライアントのデータ分析を行い、それぞれの組織におけるデータ活用全般を支援している。

社名	ヴェルク株式会社 (VELC Inc.)
コーポレートサイト	<a href="https://www.velc.co.jp">https://www.velc.co.jp</a>
役員	代表取締役 田向 祐介
	取締役 津久井 浩太郎
資本金	800万円
設立	2010年12月28日
所在地	東京都千代田区神田佐久間町1-8-2 第一阿部ビル9F
事業内容	ソフトウェア開発 コンサルティング クラウド型業務・経営管理システム「board」 データ分析支援

クラウド請求書作成ソフト、見積書発行、経営管理ツール - board

board セキュリティ 料金 事例 ニュース ヘルプ ログイン 無料お試し

バックオフィス業務のために起業したのではない  
請求書作成、見積書発行システムで終わらない  
周辺業務の効率化まで考えて作られた、中小企業向け業務管理システム

資料ダウンロード 個別相談会に申込

有料導入 **4100社突破!** 有料継続率 **99%超**

90秒でわかるboard

boardとは  
見積書、発注書、発注請求書、納品書、検収書、請求書、領収書  
見積依頼書、支払通知書の作成  
+  
周辺業務と経営の効率化



書類作成 業務管理 分析・予測

見積書作成 発注書作成 請求書作成 納品書作成 検収書作成 送付状

売上 外注費 キャッシュフロー

受発注 業務遅れ防止 原価管理

見積書や請求書の作成はもちろん、営業管理、支払管理、売上見込の把握、キャッシュフロー予測など、中小企業・小規模事業者の業務や経営を一元管理し、効率化できるサービスです。

一般的な請求書作成サービスと、中堅向け業務システムやERP等との中間に位置するようなシステムで、「請求書作成サービスでは業務管理や経営管理が不十分だが、中堅向け業務システムやERPだと価格帯が高すぎて手が出しにくい」という中小企業や小規模事業者に最適です。

クラウド型業務・経営管理システム「board」HP

2020年11月より大阪大学 スチューデント・ライフサイクルサポートセンター(旧 高等教育・入試研究開発センター)と大学IR全般の効率化をテーマとした産学共同研究を開始。

更に2022年4月より大学IRダッシュボードサービス「IRQuA(イルカ)」を提供。



The screenshot shows the homepage of IRI Lab. The header includes the logo 'Institutional Research Lab.' and navigation links: 'ホームページ', '研究成果と発表資料', 'ブログ', and 'お問い合わせ'. The main content area features a large image of a modern building with blue accents and a blue box with the text 'イリラボ Institutional Research Lab.'. Below the image, there is a paragraph of text explaining the lab's mission and a 'News & Information' section with a link to a webinar about the IRQuA service.

[共同研究IRI Lab.\(イリラボ\)HP](#)



The screenshot shows the IRQuA dashboard. The header includes the logo 'IRQuA' and navigation links: 'ホーム', 'お問い合わせ', and '資料請求'. The main content area features a large image of a computer monitor displaying a dashboard with various charts and data points. Below the image, there is a section titled 'IRQuA (イルカ) とは' which describes the service as a cloud-based dashboard for university IR, highlighting its features and benefits.

[大学IRダッシュボードサービス「IRQuA\(イルカ\)」HP](#)

1. データがビジネスにもたらす効果
2. これからの社会が求めるデータリテラシー

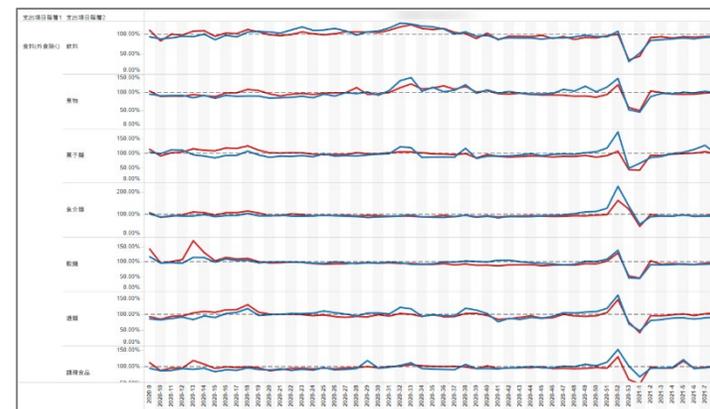
## データがビジネスにもたらす効果

## GMS(総合スーパー)や食品スーパーの売上データ分析

- コンビニエンスストアのデータ分析事例をベンチマークしながら古くからデータ活用が進んできた業種
- 商品の欠品や売れ残りを防ぐための「売上予測」が究極の目的

### データ活用例

- 家計消費データを用いて商品カテゴリごとの売上金額の販売比較  
→ 世間の消費動向から見てよく売れたのか、もっと売れたはずなのか
- 商品同士の併売状況の分析  
→ ビールとオムツは一緒に買われる傾向が高い？





## どのようなオフィスレイアウトが従業員のウェルビーイング(幸福度)を向上させるか？



報道関係各位 2021年1月14日  
三井デザインテック株式会社

---

### 三井デザインテック、東京大学との共同研究 「アクティビティ・ベースド・ワーキング(ABW)の環境と 働き方がもたらす効果に関する研究」を発表

—ABW 先進国の北欧・フィンランド国立労働衛生研究所が全面協力  
—リモートワークとともに広がる ABW の働き方

---

三井デザインテック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：檜木田敦）は、新型コロナウイルスによってリモートワークが増加する中で注目される働き方であるアクティビティ・ベースド・ワーキング（以下、ABW）について、フィンランドの国立労働衛生研究所をパートナーに、東京大学 大学院経済学研究科 稲水伸行准教授と共同で「ABW の環境と働き方がもたらす効果」についての研究結果を発表しました。三井デザインテックでは、本研究で得られた結果を今後のワークスタイルコンサルティング及び、ワークプレイス提案に活用していきます。

**【調査結果トピックス】**

- 個人とチームのパフォーマンス向上や、コミュニティ形成のためには、各活動に適した ABW 環境を活用することで効果が得られる
- オフィスの滞在時間が長く、様々なスペースを使用して仕事をしているワーカーが最も「クリエイティビティ」と「ワーク・エンゲイジメント」が高い
- 総合職は多くの人と接すること、管理職は様々な場所で異なる組織の人と接することがクリエイティビティの向上に繋がる

※本調査はフィンランド国立労働衛生研究所による ABW 環境を測定するアンケートデータ（定性）とビーコンセンサーによる行動データ（定量）を用いて東京大学と共同で研究を実施

■研究背景



報道関係各位 2021年7月15日  
三井デザインテック株式会社

---

### 最先端の ABW 研究×クロスオーバーデザイン 三井デザインテック新本社『CROSSOVER Lab』開設 Well-Being な空間でイノベーションを誘発する新たな働き方を実現

---

三井デザインテック株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：檜木田敦）は、2021年7月に本社を銀座6丁目-SQUAREに移転いたしました。

当社では、2014年より自らの業務に最適な環境を選択する ABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)を自社で実践し、同時に多くの企業のオフィス課題の解決策として提案してまいりました。昨今のコロナ禍でテレワークが広く定着するなど、ABW は新たな働き方としてより重要となっています。今回の本社移転にあたって、当社はニューノーマル時代に求められるオフィスの役割と価値を改めて見直し、最先端の ABW 研究と当社のデザイン哲学“クロスオーバーデザイン”※1を掛け合わせ、リアルなオフィスでしか得られない体験や自由な発想を促す Well-Being な空間をデザインしました。

『CROSSOVER Lab』と名付けた新本社は、社員一人一人の個性や専門性を掛け合わせる「CROSSOVER」をコンセプトとし、社内外の組織の垣根を超えた「協創」、働く人に「エンゲージメント」や「Well-Being」を促すことを目指した新しい働き方を実現するオフィスとなっています。新本社では、リアルなオフィス空間だからこそ生み出せるイノベーションやブレイクスルーを創出していきます。



1F CORDs (Crossover Design salon)



2F DESIGN BASE

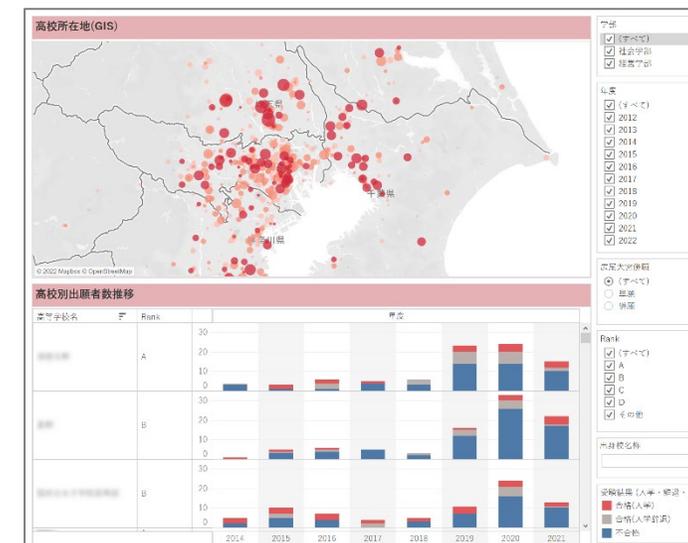


## 受験生や学生の成績分析

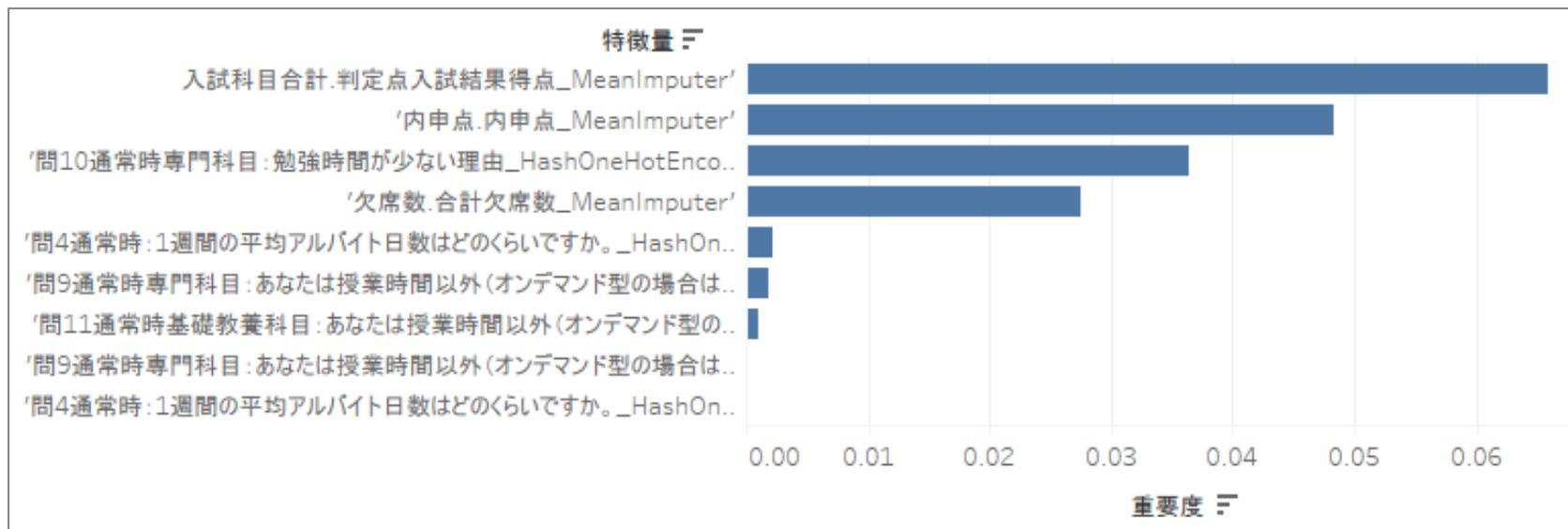
- 少子化やコロナ禍により教育を取り巻く環境は激変
- 入試動向や入学後の学生の成績推移を細かく分析することで、教育の質を向上させるための取り組みにつなげる

### データ活用例

- 受験者層の変化の推移  
→ レベル推移、出願者マップ、入学辞退状況などの各種要素分析
- 成績の流動性の把握と分析  
→ 1年次から成績が上がり続けている学生の抽出と要因の分析



AI技術を活用して「学生生活アンケート×成績データ」から成績への相関が大きい学生の生活習慣を抽出する



## これからの社会が求めるデータリテラシー

その専門性と敷居の高さからデータ分析を行う人材が限られていた。

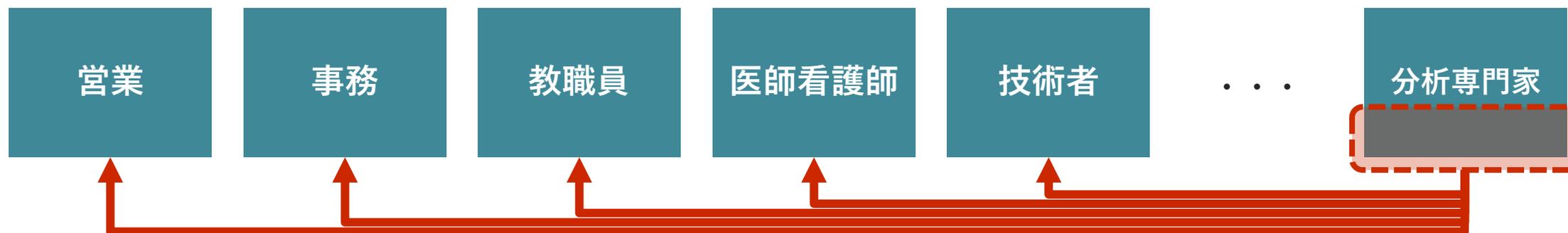


# 近年ではデータ分析を取り巻く環境が大きく変化

ビジネスでデータ分析を行うための敷居は格段に低くなった。

	2000年代初頭まで		現在
データ集積コスト	価格が高い	➔	クラウドの普及により 格段に安くなる
データ分析ツール	専門的で価格が高い		Tableau, Exploratoryなど 触りやすく価格の安いツールが増える
分析に関する情報	情報ソースが限られる		インターネットで 様々な情報が得られるように

データ分析のコストが大きく低下し、分析の専門家でしかできなかった分析作業の一部が誰でも行うことが可能に。

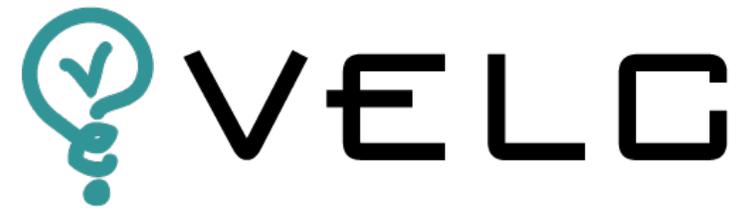


ビジネスを取り巻く環境は大きく変わり

データ分析は「専門的能力」から「一般的なリテラシー」に急速に変化・普及していく

ビジネスの世界においてデータは強い武器となり  
その武器を誰でも自由に使いこなせる時代が到来しつつある

それに向けた速やかな教育環境の整備、企業側の準備がきわめて重要



enjoy life and creation

ご清聴ありがとうございました